

母子保健計画に係るニーズ調査の結果及び課題について

資料3

今回、子ども・子育て支援事業計画に母子保健計画を盛り込み策定するため基礎資料を得ることを目的と実施し、その調査結果の評価を行い、今後の課題項目等について抽出する。

<調査概要>

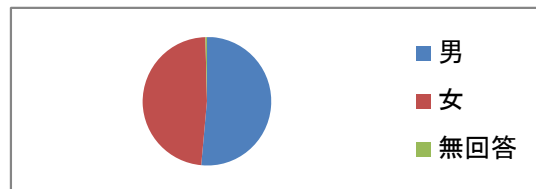
- ・調査区分 中学2年生
- ・対象 市内中学校20校 中学2年生 約500名
- ・調査期間 H25.11.11～11.29
- ・配布方法 市内中学校20校を通じて配布
- ・回収方法 在籍している中学校の担当教師に提出
- ・配布数 495枚
- ・回収数 486枚 回収率98.2%

<結果及び評価>

A 基本的属性

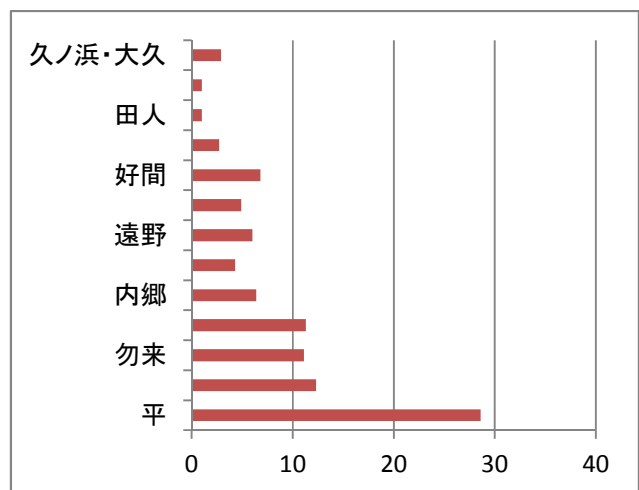
A1 あなたの性別を教えてください (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	男	250	51.4
2	女	234	48.1
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



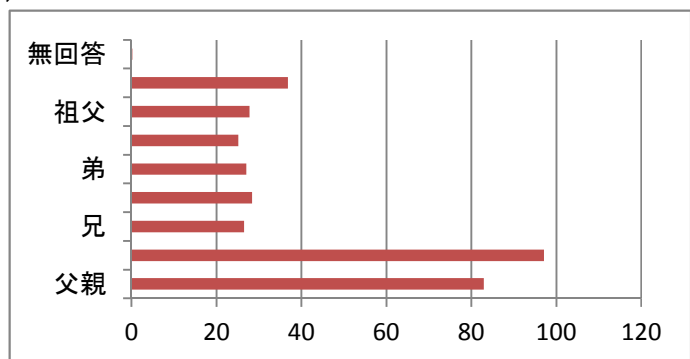
A2 通学している地区はどこですか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	平	139	28.6
2	小名浜	60	12.3
3	勿来	54	11.1
4	常磐	55	11.3
5	内郷	31	6.4
6	四倉	21	4.3
7	遠野	29	6
8	小川	24	4.9
9	好間	33	6.8
10	三和	13	2.7
11	田人	5	1
12	川前	5	1
13	久ノ浜・大久	14	2.9
	無回答	3	0.6
	サンプル数(%ベース)	486	100



A3 一緒に住んでいる家族の方を教えてください (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	父親	403	82.9
2	母親	472	97.1
3	兄	129	26.5
4	姉	138	28.4
5	弟	131	27
6	妹	122	25.1
7	祖父	135	27.8
8	祖母	179	36.8
	無回答	1	0.2
	サンプル数(%ベース)	486	100



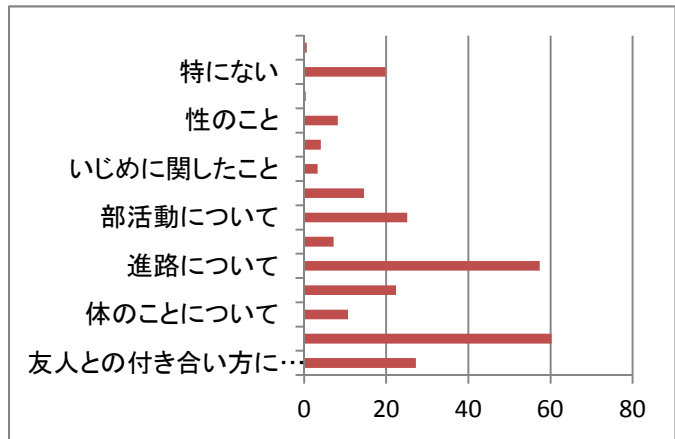
・対象者は男女ともほぼ半々の状況である。

・父親不在が17.1%、母親不在は2.9%ある。そうした家庭は両親が揃っておらず、親の心身の負担が大きい家庭環境にあると思われる。また、祖父母の同居は2割～3割であることより、核家族が6～7割と思われる。

B 不安や悩み、「性」について

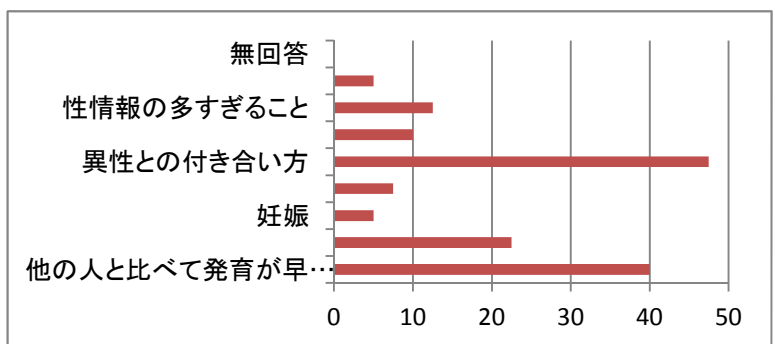
B1 あなたの不安や悩みはどんなことですか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	友人との付き合い方について	132	27.2
2	学力について	293	60.3
3	体のことについて	52	10.7
4	性格について	109	22.4
5	進路について	279	57.4
6	家族、家庭について	35	7.2
7	部活動について	122	25.1
8	生き方や人生について	71	14.6
9	いじめに関したこと	16	3.3
10	放射能のこと	20	4.1
11	性のこと	40	8.2
12	その他	2	0.4
13	特にない	96	19.8
	無回答	3	0.6
	サンプル数(%ベース)	486	100



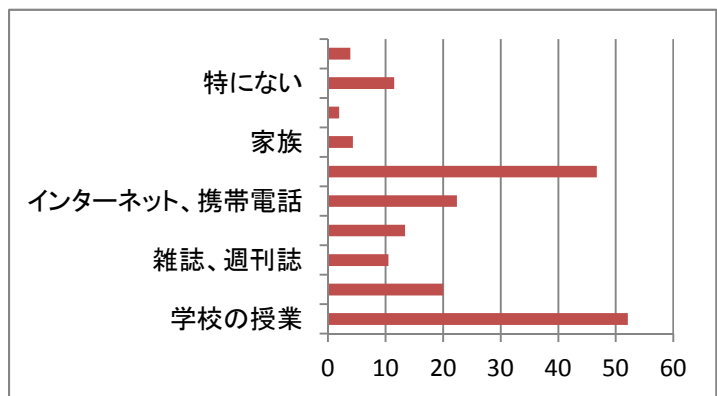
B1-1 どのようなことに悩んでいますか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	他の人と比べて発育が早い・遅い	16	40
2	月経について	9	22.5
3	妊娠	2	5
4	性感染症(性病)	3	7.5
5	異性との付き合い方	19	47.5
6	自慰(マスターベーション)の	4	10
7	性情報の多すぎる	5	12.5
8	その他	2	5
	無回答	0	0
	サンプル数(%ベース)	40	100



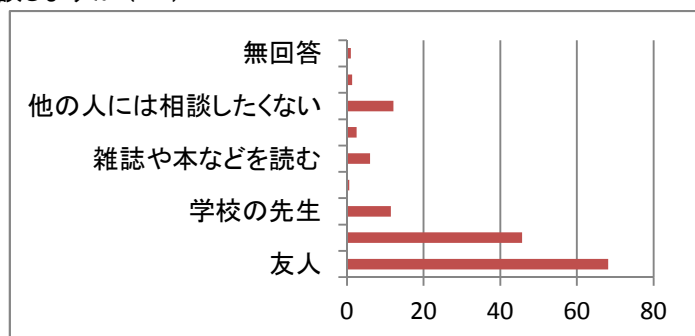
B1-2 「性」についての知識はどこから得ていますか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学校の授業	253	52.1
2	テレビ、ビデオ	97	20
3	雑誌、週刊誌	51	10.5
4	専門書、教科書	65	13.4
5	インターネット、携帯電話	109	22.4
6	友達、先輩	227	46.7
7	家族	21	4.3
8	その他	9	1.9
9	特にない	56	11.5
	無回答	19	3.9
	サンプル数(%ベース)	486	100



B2 困っていることや不安なことがあるとき、誰に相談しますか (MA)

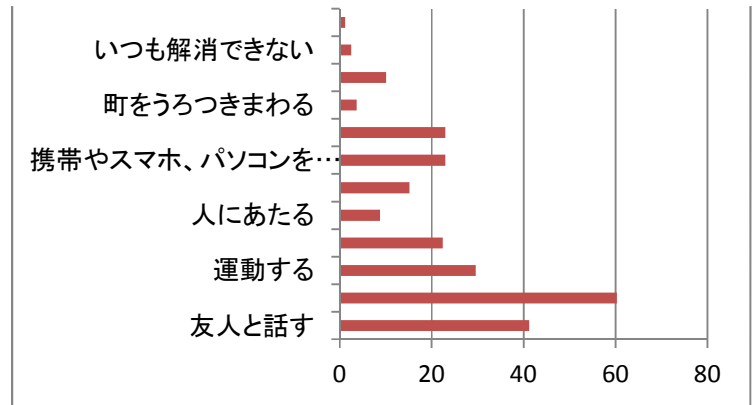
No.	カテゴリ	件数	%
1	友人	331	68.1
2	家族	222	45.7
3	学校の先生	56	11.5
4	「悩み相談」などの相談窓口	3	0.6
5	雑誌や本などを読む	29	6
6	相談相手がいない	12	2.5
7	他の人には相談したくない	59	12.1
8	その他	7	1.4
	無回答	5	1
	サンプル数(%ベース)	486	100



B3 むかついたり、イライラしたときどのように解消していますか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
-----	------	----	---

1	友人と話す	200	41.2
2	音楽を聴く	293	60.3
3	運動する	144	29.6
4	物にあたる	109	22.4
5	人にあたる	43	8.8
6	家族に話す	74	15.2
7	携帯やスマホ、パソコンを元...	112	23
8	テレビやDVDを見る	112	23
9	町をうろつきまわる	18	3.7
10	その他	49	10.1
11	いつも解消できない	12	2.5
12	むかついたりイライラにクレ...	6	1.2
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



・不安や悩みは学力や進学のことなど学業に関することが半数以上であり、中学生の悩みとしては当然のものと考えられる。性に関する悩みは1割弱であり、内容は、異性との付き合い方や発育に関してのものが半数近くを占め、ついで月経が2割程度となっている。第二次性徴による身体の変化に不安や悩みを抱いたり、異性との付き合い方に悩みを持つなど異性への興味や関心を持っている。

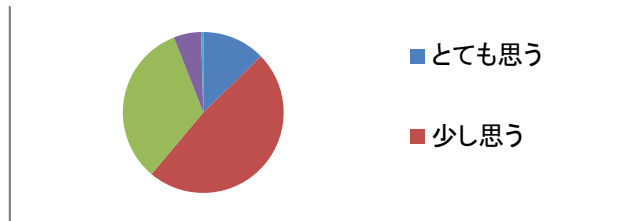
・性の知識については、学校の授業から得ているが半数を占めているが、友達、先輩も4割を占め、インターネットや携帯電話が2割、雑誌、週刊誌が1割とあり、興味本位の性情報となっていないか、今後は性に関しての正しい知識を得られる環境づくりが必要である。

・困っているときや不安に対して8割は相談相手があるが、相談相手がないやむかついたりイライラをいつも解消できないがともに2.5%あり、精神的不安や孤立感、攻撃的感情等不健康な精神状態である。心の安定・安心が図れるよう支援することが必要である。

C 自分や家族のこと

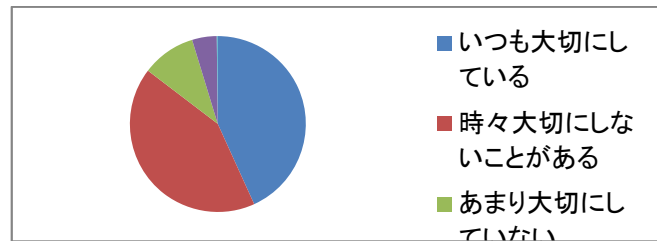
C1 自分にはいくつかの良いところがあると思いますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	とても思う	62	12.8
2	少し思う	235	48.4
3	あまり思わない	160	32.9
4	まったく思わない	27	5.6
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



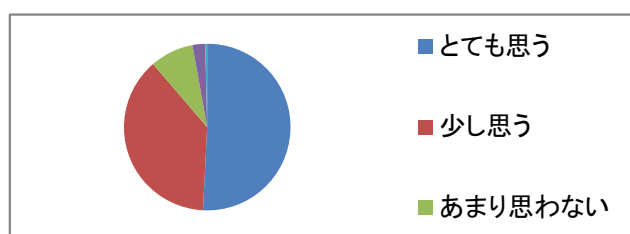
C2 あなたは、自分の体を大切にしていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	いつも大切にしている	210	43.2
2	時々大切にしないことがある	205	42.2
3	あまり大切にしていない	48	9.9
4	体のことは全く考えていない	22	4.5
	無回答	1	0.2
	サンプル数(%ベース)	486	100



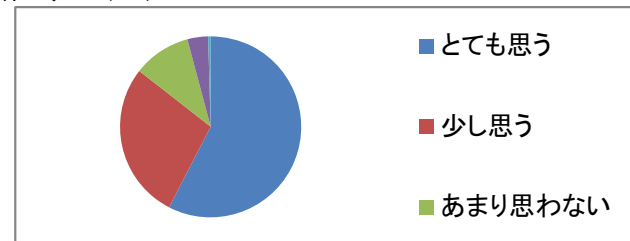
C3 あなたは家族に愛されていると思いますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	とても思う	247	50.8
2	少し思う	184	37.9
3	あまり思わない	41	8.4
4	まったく思わない	12	2.5
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



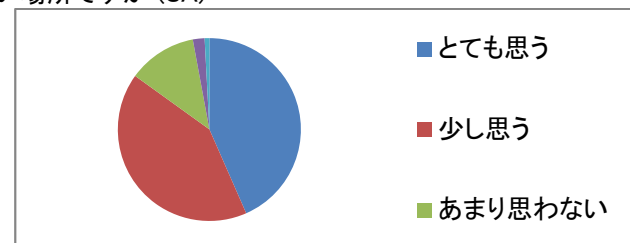
C4 あなたの家庭はあなたにとって過ごしやすい場所ですか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	とても思う	280	57.6
2	少し思う	136	28
3	あまり思わない	50	10.3
4	まったく思わない	18	3.7
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



C5 あなたの住む地域はあなたにとって過ごしやすい場所ですか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	とても思う	211	43.4
2	少し思う	202	41.6
3	あまり思わない	59	12.1
4	まったく思わない	10	2.1
	無回答	4	0.8
	サンプル数(%ベース)	486	100

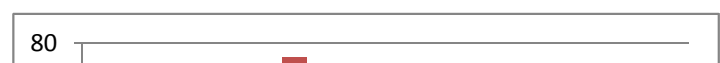


- ・自分の良い所を認める自己肯定感があるのは6割で、4割弱は自己肯定感が低い。
- ・自分の身体を大切に、家族に愛されている、家庭の居心地良さといった内容に否定的回答が1割程度あり、自己肯定感の低さと併せ、精神的充足感や安定感が満たされない中学生もいる。

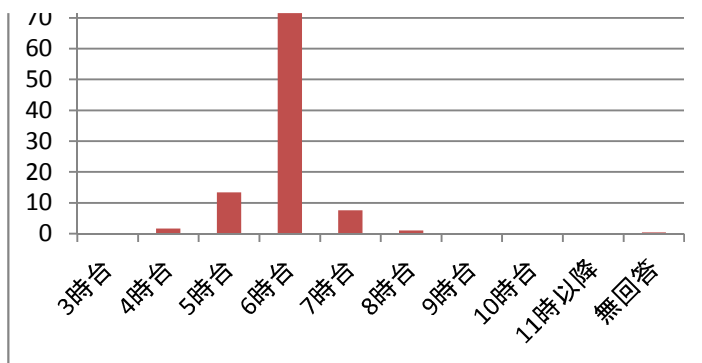
D 普段の生活習慣について

D1 1. 平日の起床(午前) 何時(数量)

No.	カテゴリ	件数	%
1	3時台	1	0.2



2	4時台	8	1.6
3	5時台	65	13.4
4	6時台	367	75.5
5	7時台	37	7.6
6	8時台	5	1
7	9時台	0	0
8	10時台	0	0
9	11時以降	1	0.2
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100

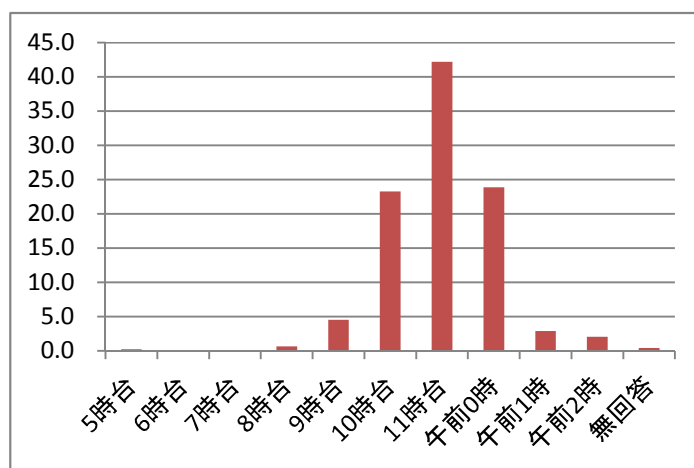


D1 1. 何分(数量)

No.	カテゴリ	件数	%
1	0~4	8	1.6
2	5~9	4	0.8
3	10~14	19	3.9
4	15~19	25	5.1
5	20~24	27	5.6
6	25~29	2	0.4
7	30~34	167	34.4
8	35~39	3	0.6
9	40~44	28	5.8
10	45~49	15	3.1
11	50~54	29	6
12	55以上	2	0.4
	無回答	157	32.3
	サンプル数(%ベース)	486	100

D1 2. 就寝(午後) 何時(数量)

No.	カテゴリ	件数	%
1	5時台	1	0.2
2	6時台	0	0.0
	7時台	0	0.0
	8時台	3	0.6
	9時台	22	4.5
	10時台	113	23.3
	11時台	205	42.2
3	午前0時	116	23.9
	午前1時	14	2.9
	午前2時	10	2.1
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100

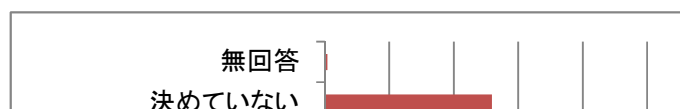


D1 2. 何分(数量)

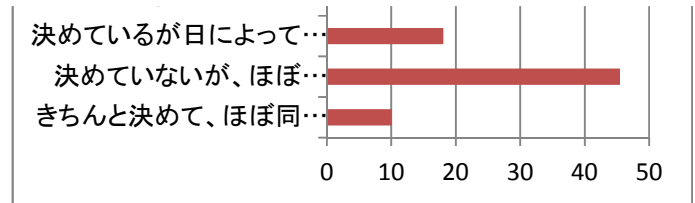
No.	カテゴリ	件数	%
1	0~4	17	3.5
2	5~9	1	0.2
3	10~14	8	1.6
4	15~19	3	0.6
5	20~24	5	1
6	25~29	0	0
7	30~34	162	33.3
8	35~39	0	0
9	40~44	4	0.8
10	45~49	9	1.9
11	50~54	3	0.6
12	55以上	1	0.2
	無回答	273	56.2
	サンプル数(%ベース)	486	100

D2 寝る時刻は決めていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	きちんと決めて、ほぼ同時刻に寝ている	49	10.1

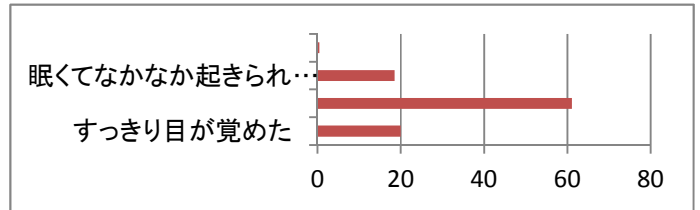


2	決めていないが、ほぼ同時に寝ている	221	45.5
3	決めていないが日によって違う	88	18.1
4	決めていない	126	25.9
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



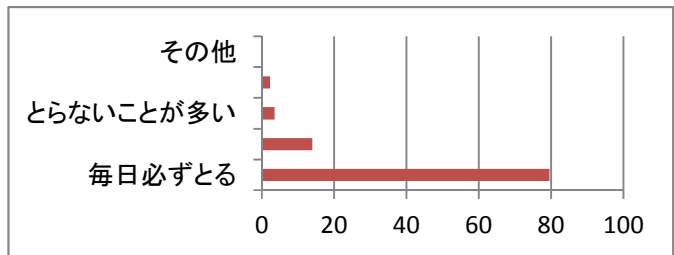
D3 今朝はすっきり目が覚めましたか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	すっきり目が覚めた	97	20
2	少し眠かった	297	61.1
3	眠くてなかなか起きられなかった	90	18.5
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100



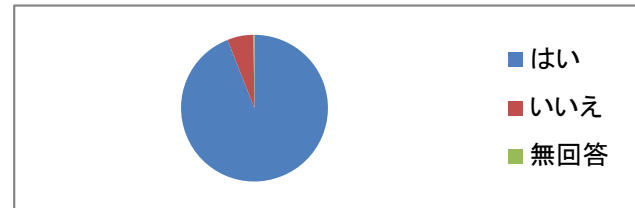
D4 学校に行く前に朝食をとりますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎日必ずとる	387	79.6
2	たいていとる	68	14
3	とらないことが多い	17	3.5
4	全く、または、ほとんどとらない	11	2.3
5	その他	0	0
	無回答	3	0.6
	サンプル数(%ベース)	486	100



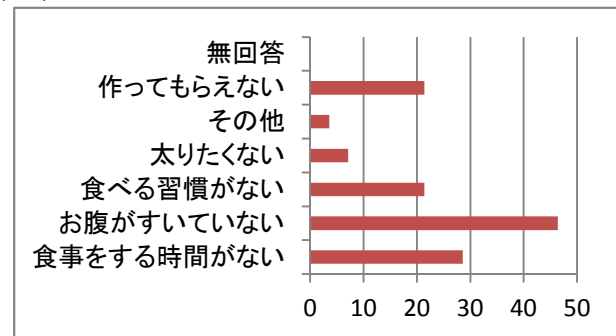
D5 あなたは食事を1日3回食べていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	はい	457	94
2	いいえ	28	5.8
	無回答	1	0.2
	サンプル数(%ベース)	486	100



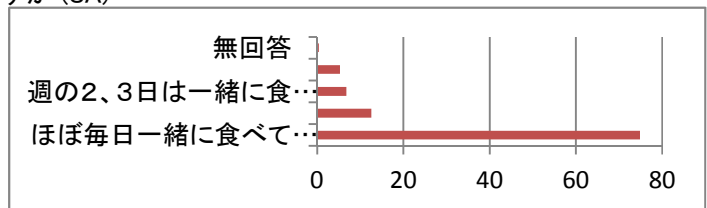
D5-1 3回食べない→食事をしない理由は何ですか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	食事をする時間がない	8	28.6
2	お腹がすいていない	13	46.4
3	食べる習慣がない	6	21.4
4	太りたくない	2	7.1
5	その他	1	3.6
6	作ってもらえない	6	21.4
	無回答	0	0
	サンプル数(%ベース)	28	100



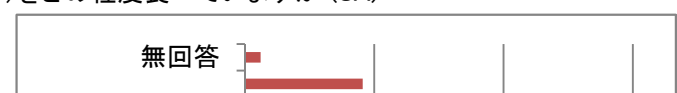
D6 あなたは夕食を家族の誰かと一緒に食べていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	ほぼ毎日一緒に食べている	364	74.9
2	週の4、5日は一緒に食べている	61	12.6
3	週の2、3日は一緒に食べている	33	6.8
4	ほとんど一緒にには食べない	26	5.3
	無回答	2	0.4
	サンプル数(%ベース)	486	100

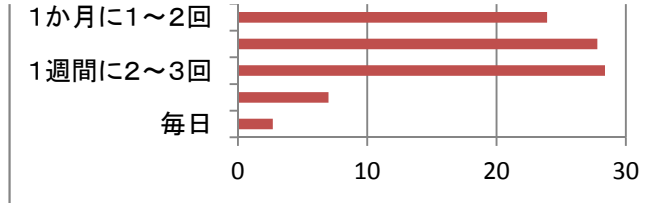


D7 市販されている調理済の食品(コンビニ弁当など)をどの程度食べていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎日	13	2.7
2	1週間に4~5回	34	7

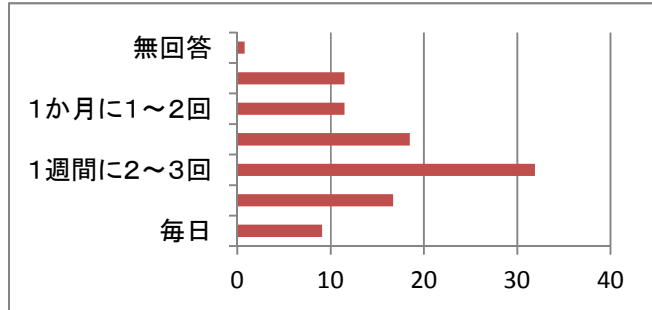


3	1週間に2～3回	138	28.4
4	1週間に1回	135	27.8
5	1か月に1～2回	116	23.9
6	ほとんど食べない	44	9.1
	無回答	6	1.2
	サンプル数(%ベース)	486	100



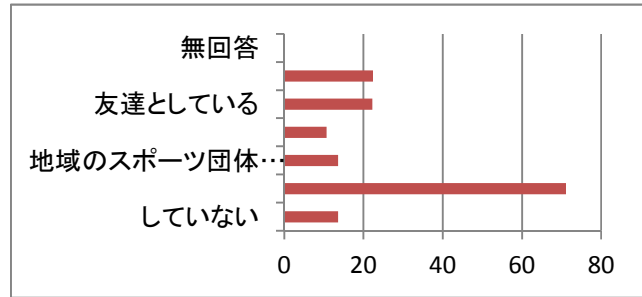
D8 ふだんスナック菓子をどの程度食べていますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎日	44	9.1
2	1週間に4～5回	81	16.7
3	1週間に2～3回	155	31.9
4	1週間に1回	90	18.5
5	1か月に1～2回	56	11.5
6	ほとんど食べない	56	11.5
	無回答	4	0.8
	サンプル数(%ベース)	486	100



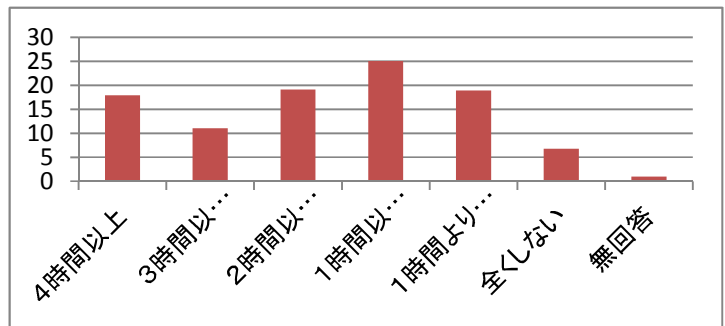
D9 学校の体育の時間以外に運動をしたり、体を積極的に動かしたりしていますか (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	していない	66	13.6
2	部活動をしている	346	71.2
3	地域のスポーツ団体等でしている	66	13.6
4	家族としている	52	10.7
5	友達としている	108	22.2
6	一人でしている	109	22.4
	無回答	1	0.2
	サンプル数(%ベース)	486	100



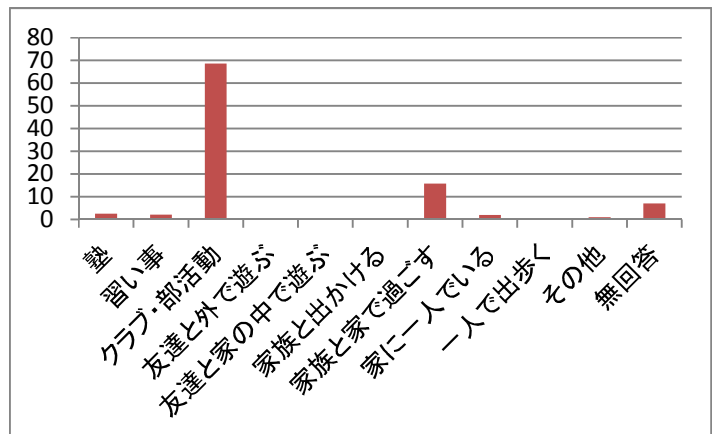
D10 1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム含む)やインターネットをしますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	4時間以上	87	17.9
2	3時間以上、4時間未満	54	11.1
3	2時間以上、3時間未満	93	19.1
4	1時間以上、2時間未満	122	25.1
5	1時間より少ない	92	18.9
6	全くしない	33	6.8
	無回答	5	1
	サンプル数(%ベース)	486	100



D11 放課後、どのようにして過ごすことが多いですか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	塾	12	2.5
2	習い事	10	2.1
3	クラブ・部活動	333	68.5
4	友達と外で遊ぶ	1	0.2
5	友達と家の中で遊ぶ	2	0.4
6	家族と出かける	3	0.6
7	家族と家で過ごす	77	15.8
8	家に一人でいる	9	1.9
9	一人で出歩く	0	0
10	その他	5	1
	無回答	34	7
	サンプル数(%ベース)	486	100



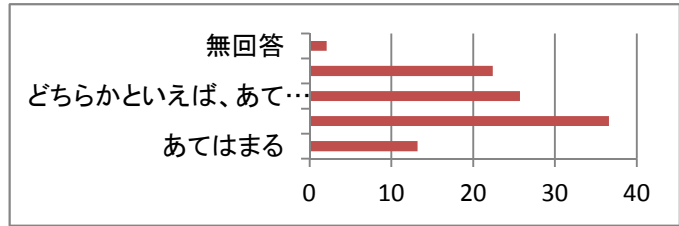
D11-1 家で一人でいる→あなたは不安を感じたりすることがありますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	あてはまる	0	0
2	どちらかといえば、あてはまる	0	0

3	どちらかといえば、あてはまらない	0	0
4	あてはまらない	9	100
	無回答	0	0
	サンプル数(%ベース)	9	100

D12 あなたは、住んでいる地域の行事に参加していますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	あてはまる	64	13.2
2	どちらかといえば、あてはまる	178	36.6
3	どちらかといえば、あてはまらない	125	25.7
4	あてはまらない	109	22.4
	無回答	10	2.1
	サンプル数(%ベース)	486	100



・就寝時間をみると11時以降は7割となり、0時以降は約3割と、夜型の生活となっている。さらに朝すっきり目が覚めているのはわずか2割で夜型の生活で十分な睡眠がとれず、それが翌朝に影響していると思われる。

・朝食は必ず及びたいとい撮るは9割だが、欠食及び撮らないことありを合わせると5.9%ある。食事を3回撮らないが、5.9%あり、撮らない理由をみると、空腹感がないことが約5割であるが、作ってもらえないが2割あり、家庭で食事が撮れない状況がみられる。

・夕食を一人で食べるは毎日、週4～5日を合わせ1割となっており、市販の調理済の食品摂取も毎日と、週4～5日を合わせると約1割程度ある。スナック菓子も毎日と週4～5日を合わせ2割を超えている。

・放課後の過ごし方は、部活や塾、習い事及び家族と過ごすのが8割を占めているが、テレビゲームやインターネットを使う時間が3時間以上のもが約3割、4時間以上は17.9%あり、夜型の生活リズム等生活習慣及び心身の不健康に繋がっている。

E 体格や体型について

E1 1. 身長 何 cm (数量)

No.	カテゴリ	件数	%
-----	------	----	---

E1 2. 体重 何kg (数量)

No.	カテゴリ	件数	%
-----	------	----	---

1	100～109	1	0.2
2	110～119	0	0
3	120～129	0	0
4	130～139	1	0.2
5	140～149	48	9.9
6	150～159	214	44.1
7	160～169	172	35.5
8	170以上	44	9.1
	無回答	5	1
	サンプル数(%ベース)	485	100

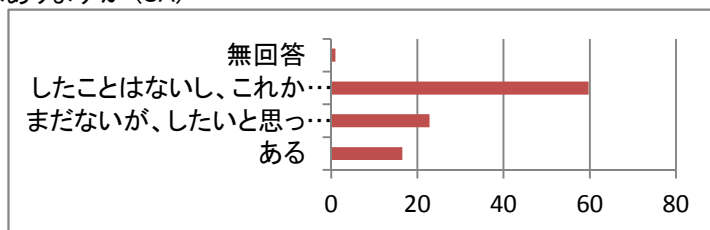
1	30～39	51	10.5
2	40～49	243	50
3	50～59	127	26.1
4	60～69	43	8.8
5	70～79	11	2.3
6	80～89	4	0.8
7	90～99	0	0
8	100以上	1	0.2
	無回答	6	1.2
	サンプル数(%ベース)	486	100

E2 あなたは、自分の体型について、太っていると思いますか、やせていると思いますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	太っている	84	17.3
2	少し太っている	101	20.8
3	ちょうどよい(ふつう)	209	43
4	少しやせている	56	11.5
5	やせている	30	6.2
	無回答	6	1.2
	サンプル数(%ベース)	486	100

E3 ダイエットをしたこと、もしくはしたいと思ったことはありますか (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	ある	80	16.5
2	まだないが、したいと思っている	111	22.8
3	したことはないし、これからもしないと思う	290	59.7
	無回答	5	1
	サンプル数(%ベース)	486	100



E4 ダイエットの影響 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	摂食障害(拒食症や過食症)になる	231	47.5
2	将来の生活習慣病(高血圧や糖尿病など)の原因となる	114	23.5
3	女性は生理が止まるなどの症状が出る	75	15.4
4	逆に体重がリバウンドするようになる	177	36.4
5	疲れやすくなり、貧血を起こすようになる	224	46.1
6	「やせた」よりも、実際は「やつれた」ようになる	125	25.7
7	よくわからないが健康によくない影響が出る	230	47.3
8	特に影響があるとは思わない	14	2.9
9	その他	6	1.2
10	わからない	73	15
	無回答	4	0.8
	サンプル数(%ベース)	486	100

・体重が80kg以上が1%でわずかではあるが、肥満対策等生活習慣病予防対策が課題としてあげらる。

・ダイエットについては、大よそ8割がダイエットの影響を認識しているが、ダイエット経験ありと今後やってみたいを合わせると4割近くを示している。成長期にある中学生が将来を見据え、生活習慣病予防の知識を持ち健康生活を送れるよう学校保健、家庭、地域保健の連携を図り支援することが必要である。。

<ニーズ調査からの課題>

1. 性に関する正しい知識の普及

思春期の心身の変化や異性への興味・関心等、性の問題に悩む状況がある。また性に関する情報を友人や先輩、インターネットや携帯から得るなどもあり、正しい性の知識を得ることが将来にわたり重要なことであり、今後性に関する正しい知識の普及に努める必要がある。

2. 精神保健の支援

自己肯定感の低さや複雑で不安定な思春期特有の精神面の対応が必要であるが、反抗期で家庭のみでは対応は困難であり、学校保健、家庭、地域保健等の分野での連携のもと対応していくことが必要である。

3. 心身の健康づくりと生活習慣病予防の取組の実施

日頃の生活では、規則正しい生活を営んでいることが大切である。調査結果からは夜型の生活やインターネットやテレビゲームを4時間以上やっている状況や、欠食や孤食、週4～5回以上調理済み食品の摂取やスナック菓子も2割程度あり、こうした生活状況を改善していくことが必要であり、現在のみでなく、将来にわたり健康生活を営めるよう生活習慣病予防に関して学校保健・家庭・地域保健が連携し、知識の普及啓発も行う必要がある。

さらにダイエットをしたことがある、やってみたいを合わせ4割近くあり、思春期の成長期に健全な心身の健康づくりへの支援を学校保健、家庭、地域保健の連携のもと進めていく必要がある。

<「健やか親子21」の視点に合わせた母子保健評価からの課題>

1. 思春期保健対策の充実

・本市の十代人工妊娠中絶率は平成22年度以降増加傾向にあり、国、県より高い状況が継続しており、更なる対応が求められている。

・思春期保健対策は、健やかな妊娠・出産つろい次世代への生命をつなげる入り口であり、保健分野・学校での発達段階に応じた性教育の実施はもとより、行政・教育機関・医療機関等及び市民(家庭)を含めて課題を共有し、課題解決に向けて連携した取り組みが必要不可欠である。

2. 健やかなの妊娠・出産に向けての支援

・周産期死亡率、妊娠期・育児期の本人及び家族の喫煙は改善しているものの国・県より高い。更に低出生体重児出生割合の増加が見られている。

早期の妊娠届出の奨励及び妊娠・出産期の保健指導の更なる充実及び医療機関等関係機関との連携が必要である。

3. 妊娠・出産・育児期と切れ目ない育児支援体制づくり

・核家族や近隣との交流の希薄化等でそうだんできない人の孤立化が懸念されている。また、親になるまで自ら子どもの世話をした経験の少ない人も増えていることから、妊娠期～出産・育児期において、出産後の環境整備、親同士の交流の場・気軽に相談できる場等各種母子保健事業の中で連動した対応をすることで、育児不安の軽減を図る必要がある。

4. 課題を抱えた子どもやその家族への支援の強化

・子どもを虐待していると思う割合において、乳児期の子どもを持つ親の割合が増加。また、発達障がいの子どもの持つ親は、子どもの「育てにくさ」を感じている。特別に支援を必要とする子どもと家庭に対し、保健・福祉・医療等関係機関と連携し発生予防・早期発見・早期対応及び継続支援の強化が必要である。